

ほけんだより

伊丹市立荻野小学校
ほけんしつ(内科健診用)
令和6年4月



内科健診、なんで上半身裸にならなあかんの？

かかりつけの病院は脱がなくてもみってくれるよ！



「子どもが嫌がってるのになぜ上半身裸にならないといけないのか？」
「せめてシャツを着たままできかないのか？」…などという意見をよく聞きます。男女別で健診を行っているとはいえ、お子さんにとって上半身裸で健診を受けることに気が進まないのは確かだと思います。ではなぜわざわざ上半身裸で健診を行わないといけないのでしょうか。

それは「脊柱側わん症」という病気を見つけるためです。

「脊柱側わん症」とは背骨が左右に曲がる病気です。思春期、特に女子に発症する「思春期特発性側わん症」が最も多く、女子全体の2%が該当すると言われており、決して少ない病気ではないのです。また思春期に病気が進行しやすいこともわかっており、早期発見が大切です。そのため平成28年から学校の内科健診で側わん症のチェックも義務化され、保護者と医師の2つの目を通し見落としを防ぐようにしています。



★脊柱側わん症のチェック方法★

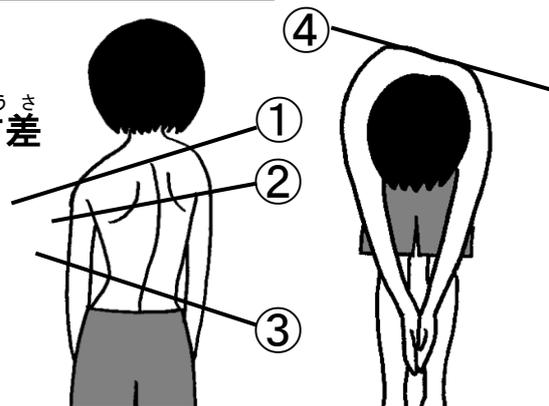
①肩の高さの左右差

②肩甲骨の高さや突き出し方の左右差

③脇の線のカーブの左右差

④前屈での肋骨隆起の確認

(背中の高さの左右差)



これら4項目を見落とさずにチェック

するためには、体操服を着たままや

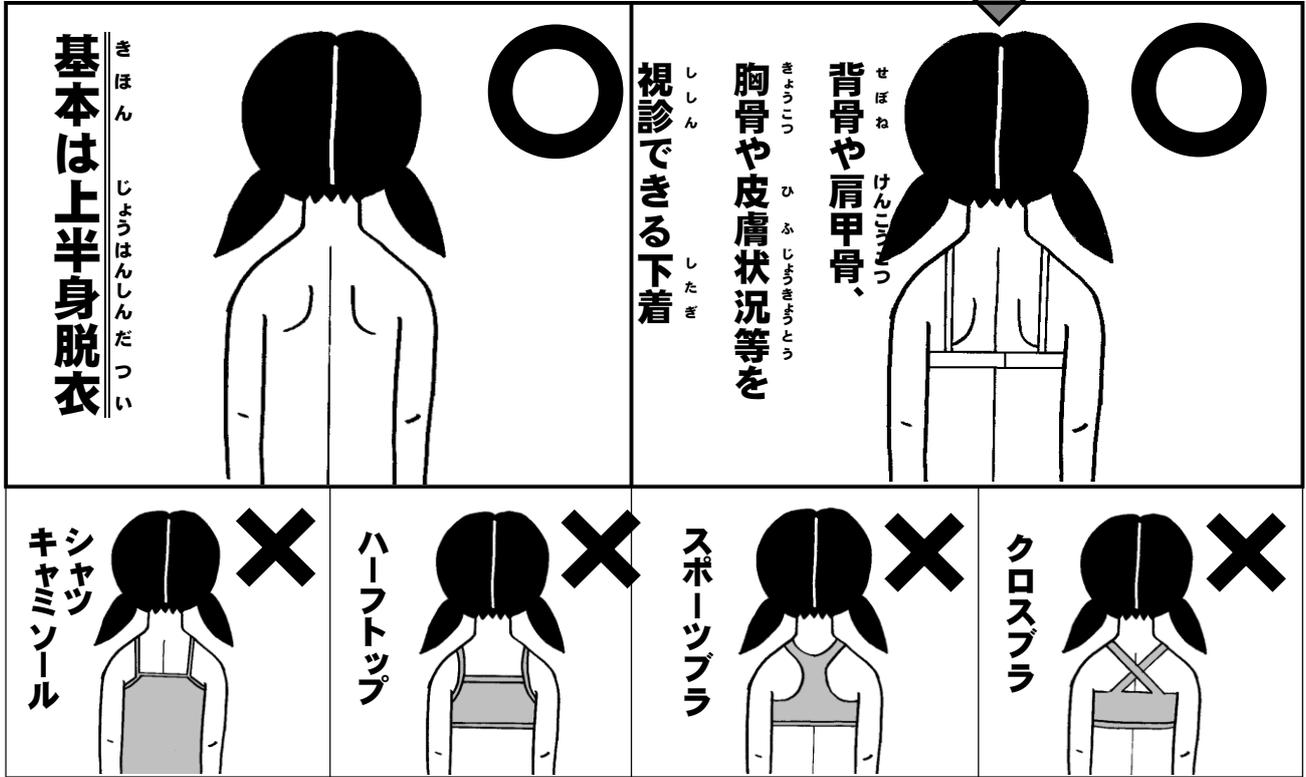
スポーツブラなど肩甲骨が隠れるような

下着着用のままでは非常に難しいのです。

だから、ふくをぬぐんだね…



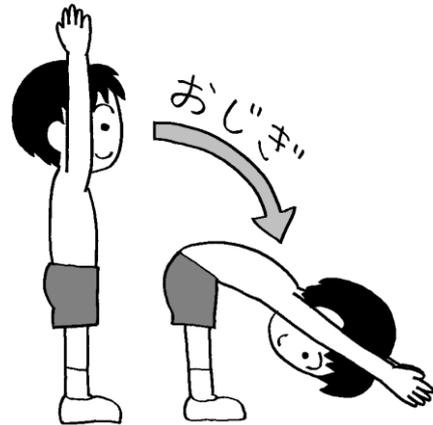
いたみし ないかけんしん げんそくじょうはんしんだつい じっし
※伊丹市の内科健診は、原則上半身脱衣での実施としますが、
 したぎ ちゃくよう きぼう ばあい けんしん ししょう な ほんい したぎ
下着の着用を希望する場合は「健診に支障が無い範囲の下着」に
 かぎ ちゃくよう きよか
限り、着用が許可されます。



ないかけんしん せきちゅうそく しょう
内科健診ではこのように脊柱側弯症のチェックをします

①後ろを向いて「気をつけ」をします

②両手を合わせて深くおじぎをします



かみ け なが ひと せなか み かみ ふた
*** 髪の毛の長い人は背中が見えるように髪を二つくりにするなど**
 けんしん う
して健診を受けるようにしてください。

ないかけんしん ば み お りかい きょうりよく なが
※内科健診の場で見落としなくチェックするためです。ご理解・ご協力お願いします。